

しとしと降る雨、そんな雨音で目が覚めた日曜日の朝  
「天の神様はいるんだな」  
閉会式で空を仰いだ瞬間 ふと、そんな思いが頭をよぎる

東日本大震災復興支援交流大会 「第6回 kizuna～きずな～ in 千曲・坂城」  
お陰様で予定していたスケジュールを無事行うことが出来ました。

ファイナルから一夜明けた朝  
特別な事はなにもなく、いつもと変わらぬ普通の朝でした（笑）  
全国各地より寄せられた多くの皆様の支援・応援をうけ、東北各地よりご参加頂いた皆様と共にファイナルの日を迎える事ができた喜び・安堵、その反面、結びの時を迎えた寂しさ・虚無感、多様な感情が入り交じっておりますが・・・  
長かったようで、あっという間の6年間  
「どこへ行くのかより、誰とどこへ行くのかが大切」  
ひとりではなく、仲間と共に歩んできたこれまでの道のり、次の一步を踏み出せる日が来るのかどうか今はわかりませんが、これまでの歩みを無駄にしないよう、支えてくれた仲間たちの想いを汲み取りながら、これまで同様「復興への道」を拓くために、一歩ずつ前へ進んでいこうと思います。  
機会があれば千曲の地で再会できることを心待ちにしております。

遠路東北よりお越し頂きました招待チームの皆さま、東京より大会を盛り上げて頂きましたゲストチームの皆さま、県内各地よりご参加頂きましたチームの皆さま、毎年本当に多くのお力添えを賜っております千曲市サッカー協会加盟のチームの皆さま、大会運営へ関わって頂いたすべての皆さま、幾重にも重ねて御礼申し上げます。

梅雨が明ければあつい夏がやってきました。どうぞ皆様、くれぐれも御身おいたわりください。

一里を歩んで佇む人がいる  
一里を歩んで力をつける人がいる  
二里を歩んで休む人がいる  
二里を歩んで汗の充実に感動する人がいる  
三里に向かって足の動かない人がいる  
三里に向かって燃え出そうとする人がいる  
つづけることは常に第一歩から始める  
若々しい勇気と希望を持つことである  
つづけてこそ道なのである

石川洋（托鉢者）

『kizuna～きずな～in 千曲・坂城』大会実行委員長  
唐木 光則